

# 佐久島体験マップ



佐久島は「にほんの里100選」に選ばれました



## 佐久島の地理

愛知県下三島ある有人島は、すべておだかや河湾内に位置する。西尾市・色町佐久島はその中で最大の島で、約150万年前に海中で堆積し、各所からその時代の化石が多数採取されている。面積は三三ヘクタール、東京メトロ有明駅までの約100キロメートル、海岸線の総延長は約13キロメートル。

## 島の歴史

あまり知られていないが、佐久島の歴史は古い。倭寇にさらされた石垣の地層から、かつて縄文土器の破片が発見されている。弥生時代のものとしては、三つの貝塚がみつかった。一世紀から三世紀にかけて作られたさまざまな様式の土器も出土している。海を生活の場とした海部族の末裔たちによって、江戸時代には海産物で繁栄した。八幡神社本殿や八幡宮、西の麓に、その頃の佐久島独自の文化を伝える「昭和佐久島」(一九五四年)佐久島は色町に編入合併。平成十三年四月、色町吉良井・鴨豆とともに西尾市に編入合併された。

## 佐久島太鼓

佐久島太鼓は島の祭り「に次せな」の八月十六日の弁財天祭典「御島弁財天」の旧暦八月十五日の白山十五夜祭り(白山社)十月十七日の秋の大祭「八幡神社」で披露される。佐久島太鼓の「バコ」は途中である「カカ」について、野球のバットのようなカリンが打てる。太鼓そのものは一般的に和太鼓よりもゆるく皮が張って打ち込まれる音色は、その重低音が聴く者の度肝を抜く。

## 島の経済

海に囲まれた環境と三河湾国立公園の中にある風光明媚な島の主な産業は、漁業と観光業である。島民の多くは自給のために畑で野菜を育てる。また、三月から五月にかけてのアサリ漁は島民の収入を支えている。アサリ採りでは、老人と女性の間で、実力のある者が多く収穫する。老人、女性の活躍の場である。

## 島の交通

佐久島を訪れるには、市営の渡船が民間の海上タクシーを主に利用する。島内への交通は、佐久島には信号機がひとつもない。車もそれほど多くあるわけではない。島内観光の足は、まさに観光客自身の手である。もともと海岸線の総延長は、十キロ程度であるから、島中を歩き回ることがある。歩くとはいくつかの距離を歩くと、ちよととした距離でも車を使いがちな人に、歩く楽しみを再発見させてくれるのもまた佐久島の魅力のひとつだろう。民間には貸し自転車もあるところがある。なお、西港から東港へは徒歩約三十分。

## 三河・佐久島アートプラン21

高齢化と過疎化の問題を抱える佐久島は、平成十三年度から地域活性化を目指し「祭り」アートをキーワードに年間を通してさまざまなイベントを開催している。アーティストと島民、来島者の交流のために、美術展やアートイベントも開催されている。現在、島内各所に常設作品が展示されており、スタンプラリーをしながら年間を通してアートツアーを楽しんでもらえる環境を提供している。

## 防災情報

- 島内放送をよく聞く
- 放送は状況によっては聞こえづらいこともあるので注意
- 津波待避場所や近くの高台に避難!
- 安全が確認された後、避難場所の佐久島小中学校へ移動

● 青色…津波浸水想定区域  
● 地震/想定最大震度7  
● 津波/津波の高さ 5.1m(想定) 津波到達時間 41分

- 佐久島散歩のほっとできる休憩所  
弁天サロン TEL.0563-78-2001  
※施設の詳細は情報面「アートに出会う」をご覧ください。
- 佐久島のこと、アートプランのことも知りたい!  
佐久島公式ウェブサイト sakushima.com  
三河・佐久島アートプラン21ウェブサイト www.m-mole.com/sakushima/
- 交通に関するお問合せ  
佐久島行船のりば TEL.0563-72-8284  
西尾市役所佐久島振興課 TEL.0563-72-9607
- 三河・佐久島アートプラン21に関するお問合せ  
西尾市役所佐久島振興課 TEL.0563-72-9607  
オフィスマッチングモウル TEL.0564-58-2787

● 佐久島体験マップ  
発行:西尾市  
企画・制作・編集:オフィスマッチングモウル  
地図制作:松岡徹/写真撮影:香村繁文  
協力:佐久島のみさん  
2002年7月発行/2017年3月31日15版発行 70,000部

## 施設 Information

施設No.	施設名	TEL(0563)	セールスポイント	位置		
①	さざなみ	79-1234	自然に囲まれ、展望風呂からの夕日と朝の小鳥のさえずりが楽しめる宿。	C5		
②	市兵衛	79-1103	家庭的な雰囲気、新鮮な海の幸をお召し上がりください。	C4		
③	佐久島館	79-1007	地元の海の幸をお客様のご要望に合わせてご提供します。気軽におくつろぎ下さい。	C4		
④	鈴木屋旅館	79-1221	佐久島ならではの、獲れたての旬の素材を活かした活魚料理が自慢の宿。	C4		
⑤	ゆきや	79-1020	日本一新鮮な朝ごはんの宿と食堂。定額網漁体験もできます。	C4		
⑥	千鳥	79-1008	旅情豊かな海辺の宿。新鮮、獲れたての海の幸でおもてなし。	C4		
⑦	九八	090-9026-4471	養泊まりの宿。大浦海水浴場の入口前。	B4		
⑧	Cafe & BARじょい	78-2014	海を眺めながら、パスタとスイーツを楽しめる Cafe & BAR です。テイクアウトや夜の営業も。	C5		
⑨	ごはん屋 海	79-1910	隠れ家のような落ち着いた雰囲気の古民家で旬の海の幸をおいしく召し上がれ。	C5		
⑩	喫茶 べんてん	79-1452	東港のすぐ前、散策の休憩にコーヒーはいかがですか。夏はかき氷、ソフトクリームもどうぞ。	C4		
⑪	鈴屋	79-1044	元祖大あさり丼の店。海の幸の一品料理もいろいろあります。	C4		
⑫	レンタル自転車 愛ランド	79-1456	お天気のいい日は、サイクリングで島を満喫しよう!スタンプラリー完走賞もあります。	C1 C4		
⑬	みぎや	79-1450	ソフトクリームをのせたかき氷、冷たいデザート充実!サクサクえびの唐揚げや海鮮焼もどうぞ。	B3		
⑭	ゆきや(海の家)	79-1433	BBQと貸自転車もどうぞ。 ※1	B3		
⑮	なぎさ	79-1062	BBQ、丼物、定食すべて佐久島でとれたものばかり。お気軽にどうぞ。 ※1	B3		
⑯	cafe OLEGALE	090-1232-7484	養漁り漁師の店主が獲った海の幸と喫茶のお店です。	B2		
⑰	カフェー	090-4187-6271	黒屋の家で海を見ながら、自家焙煎のコーヒーや西尾の抹茶をどうぞ。	C1		
⑱	オーシャンキッチン にいさん	090-7432-7551	漁師の店!!地元でとれた魚介類を使って、こだわりの創作料理を提供します。	C1		
⑲	Oyayocafe もんべまらけ	080-3643-5083	やぶに覆われた民家をみんなで開拓してきたお野菜おやつのカフェ。水・木定休。	C2		
⑳	幻のおみやげ Cafe 虹工房	080-4277-9446	名物「幻のふわふわかき氷」。古民家カフェと数種類の島アクセサリーを取り揃えたお土産屋。	B4		
㉑	根っこの家	090-7683-9446	「昔ながらの暮らし体験」手間暇かけることで忘れかけて大切な「コト」思い出しませんか? (要予約)	C2		
㉒	遊々	79-1432	レンタル自転車屋。走って遊んで佐久島の探検に出かけよう。	C1 C4		
㉓	魚増	79-1111	潮の香りいっぱいの新鮮な海の幸を、心を込めてお出しします。室内BBQ有	C4		
㉔	しーちゃんの家	79-1545	佐久島のおみやげはここで。わかめ・ひじき。貝細工などかわいい小物もありますよ。	C1		
㉕	つるや	79-1021	弁天サロンの坂の上の黄色いお店。なんでも屋さん。	C2		
佐久島診療所	79-1414	B3	西三河漁協佐久島支所	79-1231 C4	佐久島観光の会	※2 79-1427 C3
佐久島行船のりば(色港)	72-8284		西渡船場	79-1002 C1	東渡船場	79-1006 C4
佐久島クラインガルテン	79-1223		宿泊滞在型農業体験施設(年間契約制)。BBQ施設は要事前予約(有料)			
さざなみ	79-1234		三河湾どこでも送迎。たまにサナメリも迎えてくれます。			

※1 食事処、⑮は海水浴シーズンの営業となります。 ※2 佐久島観光の会へのお問合せは7・8月のみ。

## アートに出会う

三河・佐久島アートプラン21では、年数回現代美術のアーティストによる展覧会やワークショップを開催している。西集落にある**弁天サロン**(⑮)①は、島内に常設展示されたアート作品を巡る「佐久島アート・ピクニック」②の休憩所として気軽にご利用いただける公共施設。2階層根屋の間は、島の歴史、文化を紹介した「島民展」を常時開催中。

現在、佐久島では過去のアート・プロジェクトの成果として常設展示作品を島内各所で鑑賞・体験することができる。渡船を降りた**西渡船場待合室**(① C1)から作品巡りの小さな旅がスタート。西渡船場にある、アートな「顔出し看板」で佐久島観光気分を盛り上げて(③ C1)、西集落には「**ガリバーの目**」(④ C1)や、築百年の空き家をまるごと作品化した「**佐久島空家計画/大葉邸**」(⑦ C2)や、「**大和屋観音**」(⑩ C2)が点在しています。黒壁集落を通り抜けた石垣海岸の、大人気アートスポット「**おひるねハウス**」(⑧ C2)でゆったりした佐久島時間を、足を伸ばした白山神社の静かな森の中には「**空の水一山**」(⑫ B2)が弘法さんの祠と一いっしょにたずんでいる。

佐久島の東西を結ぶフラワーロード沿いは、**クラインガルテン**内のアート作品(⑪ B2)を楽しむことが出来る。大浦海水浴場の「**カモメの駐車場**」(⑬ B3)や「**すわるとこプロジェクト**」(⑭ B3)で海辺の風景を楽しむ。大島へ向かう桟橋途中にある「**イーストハウス**」(体験マップ表紙参照/⑯ C4)の全長60メートルのベンチや東屋でひとやすみしよう。大島にある「**佐久島のお庭**」(⑮ D4)のかわいらしい道とたどれば、いろいろな作品がお出迎えてくれる。東地区には、展望台北側の高干谷にある産物としての作品「**星を想う椅子**」(⑰ A4)で静かに海をながめてほしい。そして簡島手前の林をぬけ、渾美半島を見渡す高台に建つ3つめの建築作品「**佐久島の秘密基地/アポロ**」(⑱ D5)で新しい佐久島風景に出会う。

常設展示作品を巡る佐久島アート・ピクニックの所要時間は半日程度。

## 黒壁集落を歩く

佐久島の最も印象的な風景といえば、西地区の崇徳寺(C1)から大葉邸(D7 C2)界隈の三河湾の黒壁と称される黒壁集落だ。潮風から建物を守るためにコールタールで塗られた家並みの景観を残すため、島民やボランティアが保存活動に取り組んでいる。細い路地は迷路のように複雑に入り組んでいる。のんびり昼寝をする猫たちに出会えるのも黒壁集落を歩く楽しみのひとつ。迷子になったら散歩しているおばあちゃんに道をたずねてみよう。

## 島で遊ぶ

季節の魚をわらう釣り好きには、大島にある**佐久島海釣りセンター**(D4)がおススメ。(午前7時~午後6時、10月~3月は午後5時/入場無料)

**大浦海水浴場**(B3)では春の潮干狩りを楽しまう。入浴券は潮干狩り場で購入。(問い合わせは西三河漁協佐久島支所へ。3~6月頃/有料)

夏は県内屈指の美しい海で海水浴をどうぞ。更衣室・シャワー・トイレ完備。(7/1~8/31)風をきって島巡りするなら**レンタル自転車**がおススメ。交通ルールを守ってサイクリングを楽しまう(ハイキングロード等山の中は未舗装なので要注意)。

クレオ/トラにも愛された伝説の貝紫染めは、ひとつの貝から少ししか採取することができないために「皇座前」と呼ばれる貴重な染料を使用している。佐久島では、そんなめずらしい貝紫染めを島内の工房でインストラクターの指導で挑戦してみよう(別ページ施設参照)。

2012年にオープンした体験型農業施設**佐久島クラインガルテン**(⑱ B2)⑱4にはバーベキュー施設が併設されている。全天候型の屋根付き東屋で、海の幸のバーベキューを楽しめる。

## 自然を歩く

島内には暖地性、海洋性の植物が生息している。10キロしか離れていない本土と異なる種は、南の島気分を満喫できる。島の北側の東西をつらぬく**ハイキングロード**は別名「精ロード」。2000本のヤブツバキがトンネルのように続く。(3~4月頃)

春を告げるのは、大島の「**佐久島のお庭**」(⑮ D4)にある梅園だ。紅白の梅の香りに包まれてかわいい小道を歩こう。(2~3月頃)4月になると咲き出すのが**ハマダイコン**。島内各所で可憐な花を咲かせる。特に**石垣**(C2)と**丹梨海岸**(B5)の群生は感動的だ。島の東西を結ぶ**フラワーロード**には、佐久島小中学校の子ども達が丹精した花々が散策の目を楽しませてくれる。12月には**白山神社**(B2)参道にサザンカが咲き出し、1月から2月まで島中でスイセンが香り立つ。佐久島は一年中花咲く島なのである。

海岸線も浜辺が多い。丹梨、**簡島**はきれいな小石の浜。新谷(C5)は砕けた貝殻がもみじを薄葉に染める。**簡島**の手前には名勝**男子岩**(D5)、干潮時には歩いていくことができる。滑りやすいので足も注意。

**珍島**(B3)、**大明神**(D3)、**高干谷**(A4)、**大島南側**(D4)は干潮になると、磯の生き物を観察するのも楽しい。磯の**弁財天社**(D5)の奥の院は竹林になっていて、島を半周できる歩道が作られている。竹林が突然開けて海を見晴らせる場所もあり、気持ちいい散策コースのひとつでもある。

海岸線も浜辺が多い。丹梨、簡島はきれいな小石の浜。新谷(C5)は砕けた貝殻がもみじを薄葉に染める。簡島の手前には名勝男子岩(D5)、干潮時には歩いていくことができる。滑りやすいので足も注意。

## 祭りに出会う

信仰の島、佐久島の一年は、毎年1月8日に**八幡神社**(B4)の**八日講祭り**から始まる。「鬼」の字が書かれた八角形に厄男が邪気払いの弓を射ると、島民は厄払いに風の骨を奪い合う。250年の歴史を持つ伝統の祭りだ。

島の祭りの中心はいつでも**佐久島太鼓**の奉納である。男たちは見事な太鼓の打ち込みを披露する。素朴で力強い太鼓は一度聴けば忘れられない迫力がある。お盆の8月14日には、**崇徳寺**(C1)で江戸時代から続く伝統の盆踊り「ヤートセ」がおこなわれる。8月15日には東西の港で、茅の舟に線香をともした精霊流しで静かに先祖を送る。

## 特産品を味わう

島の特産品を買うなら、東西渡船場にある無人市、島のお年寄りが丹精込めて育てた野菜をめでたしあがれ。春先には**天然の干しワカメ**や前日予約(C4)。季節の海の幸を毎日干した**手作り干物は島内イベント**や前日予約(C4)あれば、民店でも販売している。佐久島を代表する海産物は**アサリ**と**コノワタ**。絶品の**島アサリ**は3月~5月のシーズンにぜひ民店・食卓で味わってほしい。コノワタはナマコの内臓の塩辛で、徳川幕府にも献上された極上の珍味。当時の製法を今に受け継ぐ伝統の味。(12~2月限定販売)

三河湾の海の幸なら、プリプリした食感をヘルシーな鍋で楽しむ**タコシラ**がおすすめ。夏期限定の**タコの冷しゃぶ**はサラダ感覚で味わえる。(民権で要予約)

## 弘法道

大正5(1916)年、佐久島に八十八ヶ所の写し霊場として弘法大師の祠が建造され、戦前には島外から多くのお遍路さんが訪れにぎわったが、近年過疎と高齢化によって縮小をよきなくされていた。三河・佐久島アートプラン21では、3年に渡り建築家による弘法の祠の新設、建築を学ぶ学生による祠のリノベーション、失われた弘法大師像を二人のアーティストが制作する「佐久島弘法プロジェクト」を行い、2012年春、数十年振りに**佐久島弘法巡り**⑤が復活した。毎年旧暦の3月21日には島中の祠に花が飾られ、お菓子などを参拝者にふるまう「お接待」が行われている。

昔ながらの弘法さんの祠

⑤ 佐久島弘法巡り/八十八弘法の途中にある19ヶ所のポイントをめぐるスタンプラリー。東西渡船場、弁天サロンでスタンプラリーを無料配布中。阿弥陀寺と崇徳寺のどちらからスタートしてもOK。

佐久島弘法八十八ヶ所巡りは、第一番札所である東地区の**阿弥陀寺**(B4)から西地区の**第八番札所の崇徳寺**(C1)まで、森の中を中心に、時に海辺や黒壁集落など、さまざまな佐久島の風景に出会う新たな散策道でもある。途中建築家によって新たに建てられた「**サンク**」(⑭ D5)、「**青**」(⑮ B5)、「**銀**」(⑯ B4)、「**空海郵便とビリー・ザ・キッド**」(⑰ B2)、「**はりぞん**」(⑱ B2)、「**コウボウノソシカケ**」(⑲ C1)や、建築を学ぶ学生達がリノベーションを手がけた9棟の祠をスタンプラリーでめぐることが出来る。

第一番札所から八十八番札所まで歩くには、所要時間3時間程度。

## 歴史を知る

佐久島には古墳時代後期の古墳が、かつて50基あまり確認されている。その代表が**山の神塚古墳**(B2)だ。6世紀後半~7世紀の横穴円墳。漁業をなりわいとした海部族の長の墓ともいわれ、石棺からは美しい碧玉・金環が出土した。他に**秋葉山古墳**(B4)、**石垣第一古墳**(C2)を見学することができる。古代製塩遺跡(B3)からは、製塩に使用した土器片が多数出土している。

1024年創建と伝えられる**八幡神社**(B4)には、江戸時代初期に再建された**八幡神社本殿**・**神明社本殿**が残っている。現在は、八日講と秋の大祭の折に公開される愛知県指定有形文化財。

**阿弥陀寺境内**(B4)にある観音堂の奇木造の如意輪観音像は、1600年の銘があり、愛知県指定有形文化財である。簡島の観音信仰の貴重な仏像だが現在は非公開。

1192年、後鳥羽上皇の第七皇子と伝えられる青蓮院によって建立されたといわれる**崇徳寺**(C1)には、戦国時代の板碑があり、徳川家康が滞在したという言い伝えも残っている。

**簡島弁財天**(D5)は、蒲郡竹島の八百富神社と豊川三明寺には並ぶ三河三祭典のひとつ。毎年8月16日には弁財天の姿を拝むことのできる。本開帳(巳年)と合帳(亥年)の6年に1度しか弁財天の姿を拝むことができない。弁財天祭典当日には、社務所で御朱印の押印をしてもらえ他、境内にある**宇賀神祠**(B2)では「顔は人、体は蛇」というご神体も拝観できる。

簡島では、弁さんへの願ひ事を平らな石に記す「**願ひ石の奉納**」が行われている。お願ひ「願ひ石の奉納」は、お札石を奉納して感謝の気持ちを捧げる。





